

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和2年2月5日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 秋田県公安委員会手数料徴収条例の一部改正について
- ・ 令和2年度運転免許関係業務委託に関する公安委員会認定審査の実施について
- ・ 運転免許の取消処分について

2 報告事項

(1) 警察職員の職務執行等に対する感謝事例について

県警察から、警察職員の職務執行等に対する感謝事例に関する報告があった。

令和元年10月～12月までの間、警察活動に対して県民等から寄せられた感謝事例が6件あり、その内訳は、「生活安全警察活動」3件、「交通警察活動」3件である。

内容は、「温泉施設で心肺停止になった者への蘇生措置に対する謝辞」等の報告があった。また、令和元年中に警察活動に対して県民等から寄せられた感謝事例は33件あり、前年と比較し1件減少したとのことであった。

委員から、『感謝事例は職員の励みになるので、好事例として紹介していただきたい。』との発言があった。

(2) 令和2年秋田県議会第1回定例会（2月議会）に提出予定の議案について

県警察から、令和2年秋田県議会第1回定例会（2月議会）に提出予定の議案に関する報告があった。

令和2年度当初予算案、及び令和元年度補正予算専決処分報告に関する報告とのことであった。

委員から、『来年度の重点的な事業に必要な配分をしていただいた。限られた予算であり、有効・適切に使っていただきたい。』との発言があった。

(3) 令和2年秋田県議会第1回定例会（2月議会）提出の議案等について

県警察から、令和2年秋田県議会第1回定例会（2月議会）提出の議案等に関する報告があり、交通事故に係る和解議案等に関する内容とのことであった。

委員から、『漫然とした運転や不注意によるもののほか、慣れもある思う。指導の強化をお願いします。』との発言があった。

(4) 令和元年中の110番通報受理状況について

県警察から、令和元年中の110番通報受理状況に関する報告があった。

令和元年中の110番総受理件数は34,561件と、前年より1,924件（5.3%）の減少となっている。このうち有効な件数は30,606件と、前年より1,343件（4.2%）減少し、いたずら等の非有効件数は3,955件と、前年より581件（12.8%）減少となっている。

110番通報の内容別では、交通事故等が13,441件と最も多く、次いで各種情報が6,285件となっている。また、有効な110番通報のうち、各種照会、要望・苦情・相談などの緊急性の低い通報が2,799件と、有効件数全体の9.1%を占めているとのことであった。

委員から、『110番の正しい使い方、かけ方の指導をしっかりとお願いします。』との発言があった。

(5) 令和元年中の児童虐待の取扱状況について

県警察から、令和元年中の児童虐待の取扱状況に関する報告があった。

児童虐待事案として認知して対応した事案は319件と、前年より37件（13.1%）増加した。また、虐待を受けた疑いがあるとして児童相談所に通告した児童数は357人と、前年より53人（17.4%）増加した。今後も、関係機関との緊密な連携を保ちながら、児童の生命・身体の保護のための措置を積極的に講じていくとのことであった。

委員から、『増加傾向であり非常に心配である。各関係機関との連携、情報共有により、迅速な対応をお願いします。』との発言があった。

(6) 風俗営業店に係る出入国管理及び難民認定法違反（不法就労助長・無許可活動）被疑者の逮捕について

県警察から、風俗営業店に係る出入国管理及び難民認定法違反（不法就労助長・無許可活動）被疑者の逮捕に関する報告があった。

横手警察署、警備第一課及び生活環境課は、令和元年12月末ころ、横手市内の風俗

営業店において、ダンサーの在留資格で在留中の2名を同店のホステスとして接待活動に従事させて、外国人に不法就労活動をさせたとして、令和2年1月30日横手市居住の男性（69歳）ほか2名を通常逮捕し、また、興行（ダンサー）の資格で在留しているフィリピン共和国国籍の女性2人（ともに23歳）が、資格外活動の許可を受けな
い
で、令和元年12月末ころ、上記店舗においてホステスとして稼働し、在留資格外の活動を行ったとして、令和2年1月29日、同人らを通常逮捕したとのことであった。

委員から、『しっかりと捜査し、適切な対応をしていただきたい。』との発言があった。